※令和４年度以降入学生用

学校番号	3008

令和４年度　工業（電子機械科）

教科	工業	科目	工業情報数理	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「工業情報数理」　（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちの身の回りにあるコンピュータをはじめ各種ＩＣＴ機器は現代社会になくてはならない存在となっています。この授業は、このような情報社会に必要な情報モラルや情報セキュリティ、ハードウェアやソフトウェアの基礎、プログラム言語（ＢＡＳＩＣ）を学びます。

２　学習の到達目標

［知識・技術］
・情報技術に関する基礎的・基本的な知識と技能を理解させる。
・「全国工業高等学校長協会主催　情報技術検定３級」合格スキルをめざす。
［思考・判断・表現］
情報技術に関する基礎的な知識と数々の諸問題の解決に向けて思考を深め、技術者として適切に判断し、表現する能力を身につける。
［主体的に学習に取り組む態度］
情報技術に対して興味と関心を持ち、身の回りにあるＩＣＴ機器等から学び取ろうとする主体的な態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報技術に関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけ、適切に活用している。	情報技術に関する基礎的な知識を基に、数々の諸問題の解決に向けて思考を深め、技術者として適切に判断し、表現する能力を身につけている。	情報技術に対して興味と関心を持ち、身の回りにあるＩＣＴ機器等から学び取ろうとする主体的な意欲と態度が身についている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	コンピュータの基礎・ハードウエアの基礎	○産業社会と情報技術 ○関数電卓操作 ○ハードウェアⅠ ・データの表し方(10進数・2進数・16進数) ・論理回路	a：情報技術に関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけ、適切に活用している。 b：情報技術に関する基礎的な知識を基に、数々の諸問題の解決に向けて思考を深め、技術者として適切に判断し、表現する能力を身につけている c：情報技術に対して興味と関心を持ち、身の回りにあるＩＣＴ機器等から学び取ろうとする主体的な意欲と態度が身についている。	・学習状況の観察 ・課題 ・小テスト ・定期考査	・学習状況の観察 ・課題 ・小テスト ・定期考査	・学習状況の観察
2学期	プログラミングの基礎	○プログラミングⅠ ・流れ図等 ・プログラム言語、 ○プログラミングⅡ ・BASIC【応用】	a：情報技術に関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけ、適切に活用している。 b：情報技術に関する基礎的な知識を基に、数々の諸問題の解決に向けて思考を深め、技術者として適切に判断し、表現する能力を身につけている c：情報技術に対して興味と関心を持ち、身の回りにあるＩＣＴ機器等から学び取ろうとする主体的な意欲と態度が身についている。	・学習状況の観察 ・課題 ・小テスト ・定期考査	・学習状況の観察 ・課題 ・小テスト ・定期考査	・学習状況の観察

※令和４年度以降入学生用

3学期	ハードウエアの基礎・コンピュータシステム	○ハードウェアⅡ ・論理回路の基礎 ・処理装置と周辺装置 ○情報技術検定試験3級対策 ○データ通信とネットワーク	a: 情報技術に関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけ、適切に活用している。 b: 情報技術に関する基礎的な知識を基に、数々の諸問題の解決に向けて思考を深め、技術者として適切に判断し、表現する能力を身につけている c: 情報技術に対して興味と関心を持ち、身の回りにあるＩＣＴ機器等から学び取ろうとする主体的な意欲と態度が身についている。	・学習状況の観察 ・課題 ・小テスト ・定期考査	・学習状況の観察 ・課題 ・小テスト ・定期考査	・学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度